

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 問題意識を持たせる | <input type="radio"/> 自分との関わりで考えさせる |
| <input type="radio"/> 多面的・多角的に考えさせる | <input type="radio"/> 自己の生き方について考えさせる |

小学校1年生 C-(10)規則の尊重「よりみち」のポイント

<ねらい> 身近な約束やきまりは、みんなが安心して過ごすためにあることを理解し、しっかり守ろうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。



道徳的価値の理解を基に・・・

① <問題意識を持たせる> ② <自分との関わりで考えさせる>

- 好きなことに夢中になって約束やきまりを破りそうになる人間の弱さを自分事として捉えさせることで、問題意識を持たせる。

③ <多面的・多角的に考えさせる>

- 「わたし」を探していた先生とお母さんの気持ちを考えさせる。
- 先生とお母さんの姿から「わたし」が気付いた点を、複数に価値から考えさせる。
(発問) 先生とお母さんは、どんなことを考えながら「わたし」を探していたのでしょうか。
 「わたし」はどのように動けなくなったのでしょうか。

④ <自分との関わりで考えさせる>

- 目に涙が溜まったお母さんの絵を見せることで、「わたし」に自分を重ねて考えさせる。
(中心的な発問) お母さんの涙を見たとき、「わたし」はどんなことを考えていたでしょう。
- 導入で出した身近な約束やきまりを振り返り、何のためにあるのか具体的に考えさせる。

⑤ <自己の生き方について考えさせる>

- 約束やきまりは何のためにあるのかについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方について考えを深めさせる。